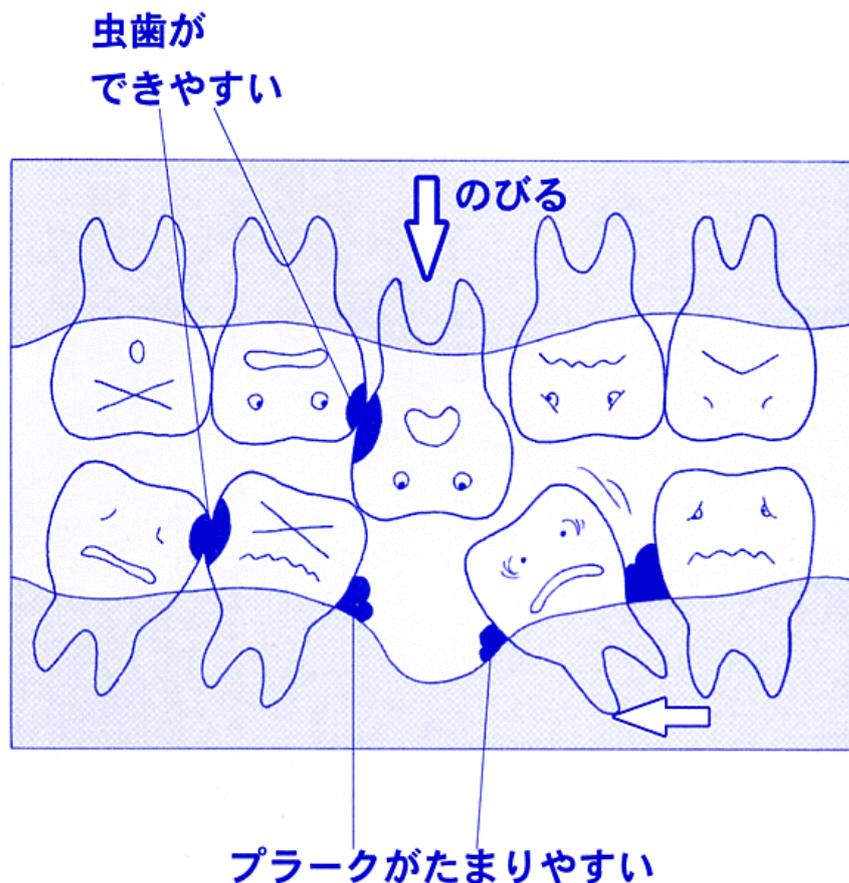


イイ歯メーションNo. 11 (平成15年3月発行)

もし、歯を一本でも失ってしまえば？

何らかの理由で歯を失い、治療せずにそのままにしておいたら、お口の中はどうなってしまうのでしょうか？

まず、抜けた(失った)歯の両隣の歯がお互いが引き寄せられる様に傾いて動き出します。そして、傾いたことによって正常な状態では噛まない部分が当たったりするようになります。傾いた歯の隣の歯も同じように少しずつ傾き易くなり、歯と歯の間に隙間ができたり、また、噛み合わせる歯がなくなった歯は伸び出てきたりして、歯並びが乱れてきます。このような状態になると、食べかすや歯垢(プラーク)が溜まりやすくなり、磨き残しが増え、その結果虫歯や歯周病になりやすくなります。





奥歯がなくなった場合、見た目にはあまり問題ありませんが歯のない隙間から食物が逃げてうまく噛むことができません。

この状態で無理して噛み続けると、あごの関節に負担を生じ、ひどい時には「顎関節症」という病気になることもあります。この病気は簡単に言うと、口を開くたびにあごの関節が、カクカク音がしたり、うまく口を開くことができなくなるものです。前歯がなくなった場合、審美性(見た目)が悪くなるばかりか、息が漏れやすく、発音にも影響がでます。また食事の時もお肉や麺類などを前歯で噛み切れなくなったり、歯のないところから食物がこぼれ易くなりがちです。

お口の中には、親知らずをのぞくと28本の歯がありますが、1本でも失うと、前述したように様々な弊害が起きてきます。1本たりとも失わないのが一番ですが、もし、失った場合には長く放置することなく、早めに治療を受けましょう。そしてこれ以上歯を失うことのないように、かかりつけの歯科医院で定期的に検診することをお勧めします。

かかりつけの歯科医をもとう

- ★定期的に歯の健診を受けよう
- ★年に一回は歯石をとってもらおう



☆各市町村の成人歯科検診 (30才、40才、50才)
は休祭日歯科当番医にて、休祭日も受け付けています☆
歯科医師会ホームページアドレス: www.yutopia.or.jp/~yoda/